

教科名 (科目名)	家庭 (家庭基礎)	履修学年	1 年	学科	普通・フロンティア 科
		単位数(週当たりの授業時数)		2	単位

◆何ができるようにするか(教科・科目の目標)

様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成する

(1) 生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それに係る技能を身に付けるようにする。

(2) 生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。

(3) 自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
評価方法	○授業プリント ○パフォーマンス課題 ○単元テスト ○実験・実習	○授業プリント ○パフォーマンス課題 ○ホームプロジェクト ○単元テスト	○ポートフォリオ ○パフォーマンス課題 ○ホームプロジェクト

○観点別学習状況の評価の組み合わせと評定(概ね次の表のとおりとする)

観点別学習状況の評価	得点率	評価の組み合わせ	評定
A	100~70	AAA	5
		AAB	
B	69~40	ABB (AAC)	4
		ABC BBB	3
		BBC (ACC)	
C	39~0	BCC	2
		CCC	1

◆何で学ぶか(教材等)

【教科書】図説 家庭基礎(実教出版)

【副教材】MIYAZAKI Cooking
(宮崎県高等学校教育研究会 家庭部会)

◆どのように学ぶか(授業方法、学習方法)

○教科書・プリントとスライド等を使って学習を進めます。

○実習・実験や体験学習では、学んだことを実践し、日常生活や将来に活かせるよう、レポートなどを活用して学習内容を定着させます。

(例) 調理実習・被服実習・福祉体験・保育体験・家庭実践 など

◆いつ、何を学ぶか(学習計画・内容)

時期		学習内容	評価方法		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的態度
1 学期	4月	○オリエンテーション ○食生活の自立と設計(1) ○家族・家庭 ○ミニホームプロジェクト(GW課題)	○授業プリント ○実習 ○定期(単元)テスト	○授業プリント ○パフォーマンス課題 ○ホームプロジェクト ○定期(単元)テスト	○パフォーマンス課題 ○ポートフォリオ ○ホームプロジェクト
	5月	○子供の生活と保育			
	6月	○高齢者の生活と福祉			
	7月	○ミニホームプロジェクト(夏期休業課題)			
2 学期	8月	○衣生活の自立と設計 ○住生活の自立と設計 ○食生活の自立と設計(2) ○ホームプロジェクト(冬季休業課題)	○授業プリント ○実習 ○定期(単元)テスト	○授業プリント ○パフォーマンス課題 ○ホームプロジェクト ○定期(単元)テスト	○パフォーマンス課題 ○ポートフォリオ ○ホームプロジェクト
	9月				
	10月				
	11月				
	12月				
3 学期	1月	○家計管理	○授業プリント ○実習 ○定期(単元)テスト	○授業プリント ○パフォーマンス課題 ○ホームプロジェクト ○定期(単元)テスト	○パフォーマンス課題 ○ポートフォリオ ○ホームプロジェクト
	2月	○消費生活・環境			
	3月	○1年間の振り返り			